

【田地売券案】
でんちうりけんあん

（端裏書）「案文」（切封墨書）

売渡申永地之事

合田畠ニ壹段者 字西アマ寺縄本、

右、件田地者、一ノサカ^{（坂）}ノ三郎次郎私領也、雖然^レ

仍^{（依）}用々有^二一、現錢壹貫七百文、限永代^一

白川別所東円坊へ売渡申所実

正也、但本役者米十合八升七合五夕、

油三合五夕出候物也、此外ニ万さう^{（雜）}公事

なし、仍為^三後日^一状如件、^レ

延徳元年十一月十三日 一ノサカ 三郎次郎 在判
（一四八九）